

2023 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	被災支援ボランティア団体「おたがいさまプロジェクト」
活動テーマ	倉敷市真備町での復興支援活動「神戸から真備へ」



活動目的

【取材・傾聴活動】平成30年7月豪雨で被災した倉敷市真備町では災害から5年目を迎え、氾濫した河川の護岸工事が終わるなど、真備町は節目の年を迎えています。真備の住民の方は何を思い、どんな未来を考えているのでしょうか。被災当時からこれまで35回、毎年活動してきた私たちが傾聴・取材活動をしました。

【子ども支援】真備町ではあれから大きな水害は発生しておりません。しかし、その後の新潟や静岡等の全国の水害状況をテレビで見るとフラッシュバックして不安そうにする子どもがいるとうかがいました。悲しみを無かった事には出来ませんが乗り越えることはできます。そして悲しみを乗り越えた子どもたちは必ず思いやりのある優しい大人へと成長します。これからの社会をあなたにかいものにするために、今回も誠心誠意活動しました。

活動方法

- ・「復興イベント第5回KIZUNA フェスタ」において、親子向けアルバム作りワークショップ活動
- ・「第2回水害伝承の展示会」において、取材活動
- ・公共施設において、傾聴・取材活動

活動効果

【子ども支援】親や地域、そして当団体のような外部による、児童福祉や教育プログラムを通じた包括的な愛情によって、過去のトラウマを乗り越え、思いやりのある大人へと成長促進させる一助となった。

【傾聴活動】

- ・被災者が自分の気持ちや経験を吐き出すことでストレスや不安を軽減し、心の負担を軽くすることによって、孤独死や引きこもりなどの抑制となった。
- ・自らの経験を語ることで、その経験を整理し、また受容することで、未来に向けての意味を見出すきっかけの場となった。

【情報発信】

- ・イベントを通じて地域コミュニティの向上、防災や減災への意識向上や記憶の継承につなげた。
- ・現地活動の報告をSNSにおいて実施。活動を通じて、西日本豪雨への風化防止や、防災・減災への意識向上を全国に発信できた。